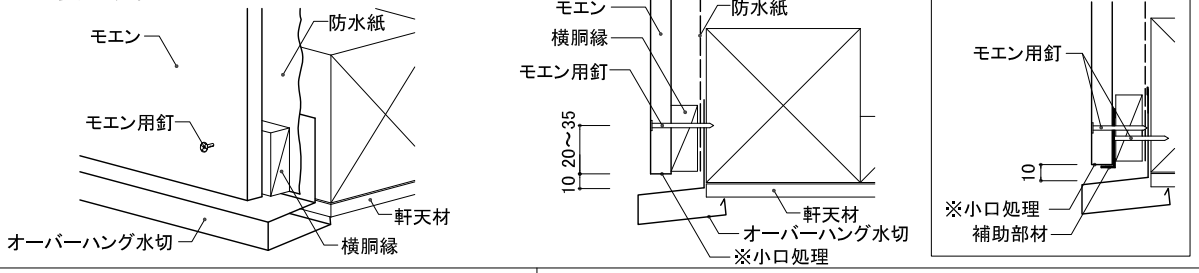
14㎜厚品 (M) (W)	1.5尺×10尺 3尺×10尺	下　地	留付方法	張り方向	木胴縁組
		木造軸組下地	釘	縦	横胴縁 @500㎜以下

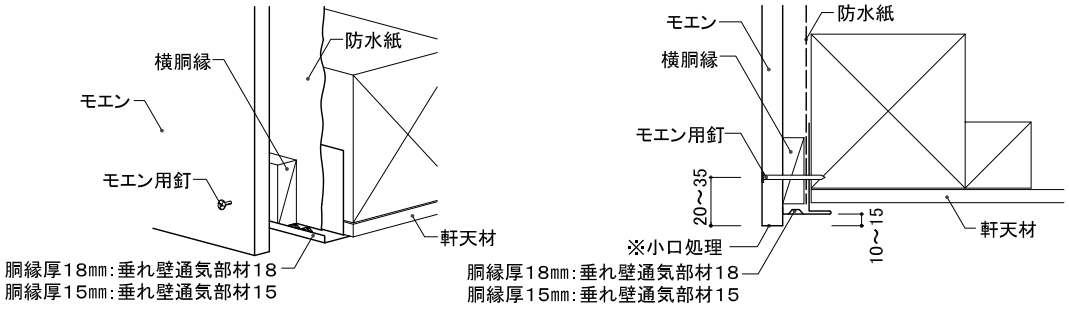
12）オーバーハング部　①オーバーハング水切

●防水紙はオーバーハング水切の上にかぶせて施工します。
●モエン下端に10～15㎜の隙間を設けます。
●モエンはモエン用釘（ステンレスリング釘φ2．5㎜×43㎜）で留め付けます。
※縦張り釘打ち用補助部材を使用する場合は、モエン用釘を用いて250㎜以下の間隔で取り付けます。
また、補助部材はモエンの荷重を長期的に負担する設計ではないので、モエンの下端は所定の釘打ちが必要です。



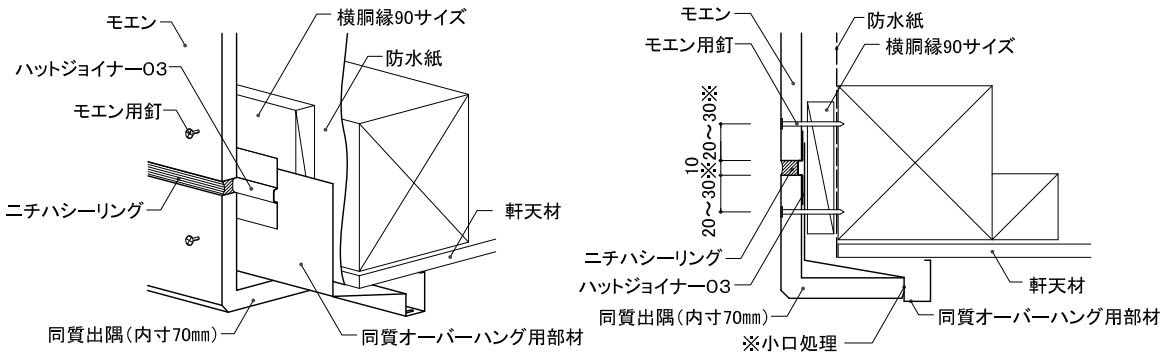
12）オーバーハング部　②垂れ壁通気部材

●横胴縁の厚みが18㎜の場合は「垂れ壁通気部材18」を、横胴縁の厚みが15㎜の場合は「垂れ壁通気部材15」を使用します。
●防水紙は垂れ壁通気部材の上にかぶせて施工します。
●モエンはモエン用釘（ステンレスリング釘φ2．5㎜×43㎜）で留め付けます。



12）オーバーハング部　③同質出隅

●同質出隅仕様にする場合は、必ず同質オーバーハング用部材を使用します。同質オーバーハング用部材は、内寸法70㎜の同質出隅専用部材です。その他の内寸を使用する場合は、水平方向の内寸を70㎜に切断し、切断面を小口処理します。
●モエン本体、同質出隅はモエン用釘（ステンレスリング釘φ2．5㎜×43㎜）で留め付けます。
●同質出隅との取り合い部には、ハットジョイナー03を取り付けます。
※横胴縁の端あきが10㎜以上になるように釘打ちします。
●マスキングテープで養生後、小口に専用プライマーを塗布し、ニチハシーリングを充填します。



小口処理　モエン縦張り下端小口面および切断小口面は、モエンシーラーを十分塗布し乾燥後、切断小口面が見える部分については専用補修液を、それ以外の部分はモエンシーラーを塗布します。

釘頭　釘頭の補修は目立つ箇所のみとし、専用補修液を使用し、必要最小限の範囲に塗布します。